

2018年度 自己点検・自己評価項目

吉祥寺外国語学校
校長 土屋巖

5:達成している 4:ほぼ達成している 3:どちらともいえない 2:取り組みを検討中 1:改善が必要

1 理念・教育目標	評価
1 1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか	5
2 1-2 特色は何か	5
3 1-3 理念に基づく教育が行われているか	5

<現状・具体的な取り組み／課題>

本校は、進学、就職、生活、日本体験等、様々な目的で日本語と日本文化を学ぼうとする世界各国の学生達に対し、仲間と共に学びながら個々の夢を実現することを目指し、教育活動を行っている。個々のニーズを把握し、それぞれの学生に合い、満足できる授業が行えるよう、取り組んでいる。会話力を重視し、使える日本語の習得を目標として、学生一人一人に目が届くきめ細かい指導、経験豊富な講師達、充実したカリキュラム等、維持できるよう努めている。

2 学校運営	評価
4 2-1 運営方針は定められているか	5
5 2-2 運営方針に沿った事業計画は定められているか	5
6 2-3 運営組織や意思決定機能は明確化されているか、有効に機能しているか	4
7 2-4 危機管理体制は整備されているか	2
8 2-5 教育目標達成に必要な教員の知識、能力や資質が明示されているか	3

<現状・具体的な取り組み／課題>

校長が運営方針を示し、各職員で分担して事業計画を立て、全体ミーティングで承認を諮り、非常勤職員にも示している。校長を中心に運営内規を整備し、それに基づいて日々の業務を行っている。新たに出て来た諸問題は、週1回の全体会議や必要に応じて打ち合わせを行い相談、解決、共有している。さらに円滑な運営を目指し、事業計画の進捗状況を確認し、実現に向け努力していくことが課題。特に危機管理体制の整備が急務である。

3 教職員	評価
9 3-1 教育理念・目的が教職員間で共有されているか	4
10 3-2 教育の質を向上させるための取り組みが確立されているか	4
11 3-3 教職員評価を行っているか	3

<現状・具体的な取り組み／課題>

各学期中のクラスミーティング・学期後の反省ミーティング・学期前の確認ミーティングにて授業内容や指導法の確認や反省、問題点を把握し解決を行い、それらを通じて教育理念・目的を共有している。入学時インタビューや学生面談、クラスミーティングでの学生の様子等から、学生のニーズやレディネス、学習状況をできるだけ細かく把握し、担当教員全員で共有する一方、教案チェックや授業見学、フィードバック等質の高い授業の提供を目指している。学期毎に行う学生面談等から教職員の業務改善につなげているが、今後は授業アンケート等も行っていきたい。

4 教育活動			評価
12	4-1	カリキュラムは体系的に編成されているか	4
13	4-2	授業評価の実施・評価体制はあるか	3
14	4-3	目標に向け授業を行うことができる要件・資質を備えた教員を確保しているか	3
15	4-4	成績評価は適切に行われているか	4
16	4-5	各種日本語試験の合格率向上のための指導体制は整っているか	4
17	4-6	成績判定基準及び判定方法が明確に定められているか	4
18	4-7	教育目標達成に向けた教育内容、教育方法及び進度設計がなされているか	4
19	4-8	教育内容及び教育方法について教員間で共通理解が得られているか	4

<現状・具体的な取り組み／課題>

学習者層の変化に伴い、カリキュラム変更をレベル順に実施、今年度で全レベルの変更作業が完了。初級1から上級3までの8レベル、4技能を段階的にステップアップできる体系的なカリキュラムをさらに充実させるべく、各レベルで授業を実施しながら変更部分や問題となる部分について各ミーティングで確認・検証を行い、学習者の習熟度や到達度等、新カリキュラムの妥当性を常に検証している。新カリキュラムでも成績評価が適切に行われるよう毎学期期末テストを作成、期末テストと複数のクラス担当教員の授業内評価から成績判定を行い、それらを基に進級審査を行っている。受験者が多い日本語能力試験に対し、対策授業や個別相談を行っている。上記教育活動について、全教員が理解し、同じ教育理念・目的・問題意識が共有できるよう、各ミーティングや個別のヒアリングを行い、能力のある教員が継続して働ける環境を維持できる環境作りを目指している。

5 学生支援			評価
20	5-1	進路に関する支援体制は整備されているか	3
21	5-2	学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	4
22	5-3	学生の心身の健康管理・事故等に対するサポート体制は有効に機能しているか	3
23	5-4	学生寮等、学生への生活環境への支援は行われているか	4
24	5-5	保護者と適切に連携しているか	3

<現状・具体的な取り組み／課題>

教務担当が個別に学生の進路希望（進学、就職等）を把握し、希望に沿った進路指導を行っている。留学生担当が定期的に留学生面接を行い、学習及び生活状況を把握し、問題対応、共有をしている。緊急時に備え緊急連絡先を学生に周知している。留学紹介機関や保護者に対し、必要に応じて出席・成績状況を報告、学生に問題があった場合は早急に連絡し、連携している。

6	在籍管理と生活指導	評価
25	6-1 入国・在留関係の管理・指導・支援が適切に行われているか	5
26	6-2 日本社会を理解するための支援が適切に行われているか	4
27	6-3 日本の法令を遵守させる指導を行っているか	4
28	6-4 学生の情報を把握しているか	5

<現状・具体的な取り組み／課題>

入学時、資格外活動開始時、在留資格更新時、卒業時等にオリエンテーションを実施し、留学生活において必要な知識・手続きについて説明を行い、指導・支援を行っている。必要に応じて母語または共通語の資料・通訳を手配し、学生が十分に理解できるように努めている。

3カ月に一度学生に「連絡票」を記入してもらい、面接を行い、生活状況、居住地、緊急連絡先、在留期限、資格外活動の有無、国民健康保険加入の有無、健康状態、学習状況、進路を確認している。連絡票は卒業まで全て保管し、様々な支援・指導に活用されている。

年1回結核検診を実施しているが、学生の健康管理のため他にどのような対応ができるか検討する。

学生に出席率を自覚してもらうため出席率表を配布している。教職員にも学生の出席率を回覧し、出欠情報の共有に努め、早い段階で指導できるようにしている。入国管理局への出席率報告の対応手順を定めた。

7	学生募集	評価
29	7-1 学生の受け入れ方針は定められているか	5
30	7-2 入学選考を行う態勢は整備されているか	4
31	7-3 入学選考は適正かつ公平な基準に基づき行われているか	4

<現状・具体的な取り組み／課題>

学校の現状に即した募集をするため、入学資格・審査方法を一部見直し、年間の募集人数を定め、募集計画を立て、募集活動を行っている。

学生募集を委託している各国の仲介機関・仲介者については、定期的に連絡をし、学校の教育内容や方針を十分に理解してもらい、協力体制を整え、より信頼関係を築けるよう努めている。今後様々な国から目標とする人数を募集するため、現地訪問や日本留学説明会等への参加等の広報活動、問い合わせ対応について検討する。

教職員複数名で入学審査（スカイプ面接、書類審査）、在留資格認定申請業務を行っている。

8 財務		評価
32	8-1 中長期的に財務基盤は安定しているか	4
33	8-2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
34	8-3 適正な会計監査が行われているか	5
35	8-4 財務情報の公開の体制はできているか	4

<現状・具体的な取り組み／課題>

学校運営の基盤は財務であるが学生の増減によって大きく変動する。2018年度の予定総収入は前年度より減少しているが期首予算に対し想定内の決算が見込まれ、剰余金を積み上げる予定である。

学生数の安定を図り、新たな代理店と契約を結び留学生の増員を図る。又 HP・FACEBOOK 等の媒体を活用し、情報宣伝に努めている。

会計監査は税理士法人により毎月適正に行われている。

8-4 に関しては公開体制はできているが、何処まで公開すべきか検討中。

9 法令遵守		評価
36	9-1 法令、設置基準の遵守と適正な運営がなされているか	5
37	9-2 個人情報保護のための対策がとられているか	4
38	9-3 自己点検・自己評価の実施と改善に努めているか	5
39	9-4 自己点検・自己評価を公開しているか	—

<現状・具体的な取り組み／課題>

当校は法務省の法令、設置基準を満たしており、適正校としての認定を受けている。

また、(財)日本語教育振興協会の加盟校として適正認定を受けている。

東京入国管理局への定期報告等定められた報告も適正に遅滞なく行われている。

個人情報の扱いについては、外部と情報通信ができないパソコンを使用して、利用目的及び理由を明確化するようにし、その保護に努めている。またパソコンのウィルス対策など定期的に行い、不正アクセス等に対しても適切に対応している。

今回初めて自己点検・自己評価を実施したので、今回の評価をもとに現在の問題を把握し、改善に努めてゆくことが重要である。

今回が実施初回のため、9-3 は今回実施したことへの評価とし、9-4 に関しては評価不可のため「—」とした。